

<認知症対応型共同生活介護用>
<小規模多機能型居宅介護用>

評価結果報告書

地域密着型サービスの外部評価項目構成

	項目数
I. 理念に基づく運営	8
1. 理念の共有	1
2. 地域との支えあい	1
3. 理念を实践するための制度の理解と活用	3
4. 理念を实践するための体制	2
5. 人材の育成と支援	0
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	1
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	0
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	1
III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	5
1. 一人ひとりの把握	1
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	1
3. 多機能性を活かした柔軟な支援	0
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	3
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	6
1. その人らしい暮らしの支援	4
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	2
合計	20

事業所番号	1475500821
法人名	株式会社 愛誠会
事業所名	はなまるホーム有馬
訪問調査日	平成22年7月6日
評価確定日	平成22年8月25日
評価機関名	株式会社 R-CORPORATION

○項目番号について
外部評価は20項目です。
「外部」の列にある項目番号は、外部評価の通し番号です。
「自己」の列にある項目番号は、自己評価に該当する番号です。参考にしてください。

○記入方法
[取り組みの事実]
ヒアリングや観察などを通して確認できた事実を客観的に記入しています。
[次ステップに向けて期待したい内容]
次ステップに向けて期待したい内容について、具体的な改善課題や取り組みが期待される内容を記入しています。

○用語の説明
家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。
家 族 = 家族に限定しています。
運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。
職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。
チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

平成 22 年度

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

Table with 4 columns: 事業所番号, 事業の開始年月日, 指定年月日, 法人名, 事業所名, 所在地, サービス種別, 定員等, 自己評価作成日, 評価結果市町村受理日.

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

Table with 2 columns: 基本情報リンク先, (empty cell)

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

はなまるホーム有馬は、川崎市の郊外にある丘陵地帯の緑豊かな環境にあり、近くには古くからの商店街もあります。その為、認知症を患った方が、穏やかな気持ちで静養出来、近くの商店街に買い物に行く等、社会との関係も適度に行う事ができます。

【評価機関概要(評価機関記入)】

Table with 4 columns: 評価機関名, 所在地, 訪問調査日, 評価機関評価決定日.

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

このホームの特徴
①ホームの経営はアイセイ薬局を母体とする㈱愛誠会である。愛誠グループは全国に薬局を展開して来たが、近年㈱愛誠会として埼玉のデイサービス(3施設)、グループホームは神奈川(2施設)、静岡(2施設)、千葉(1施設)の5ヶ所、静岡に有料老人ホームを展開している。

【地域密着型サービスの外部評価項目の構成】

Table with 3 columns: 評価項目の領域, 自己評価項目, 外部評価項目.

事業所名	はなまるホーム有馬
ユニット名	1階ユニット笑顔

V アウトカム項目	
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者の
	<input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいの
	<input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいの
	<input type="radio"/> 4, ほとんど掴んでいない
57 利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	<input type="radio"/> 1, 毎日ある
	<input type="radio"/> 2, 数日に1回程度ある
	<input type="radio"/> 3, たまにある
	<input type="radio"/> 4, ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が
	<input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいが
	<input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいが
	<input type="radio"/> 4, ほとんどいない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が
	<input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいが
	<input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいが
	<input type="radio"/> 4, ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が
	<input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいが
	<input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいが
	<input type="radio"/> 4, ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が
	<input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいが
	<input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいが
	<input type="radio"/> 4, ほとんどいない
62 利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が
	<input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいが
	<input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいが
	<input type="radio"/> 4, ほとんどいない

1.48E+09

63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての家族と
	<input type="radio"/> 2, 家族の2/3くらいと
	<input type="radio"/> 3, 家族の1/3くらいと
	<input type="radio"/> 4, ほとんどできていない
64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	<input type="radio"/> 1, ほぼ毎日のように
	<input type="radio"/> 2, 数日に1回程度ある
	<input type="radio"/> 3, たまに
	<input type="radio"/> 4, ほとんどない
65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	<input type="radio"/> 1, 大いに増えている
	<input type="radio"/> 2, 少しずつ増えている
	<input type="radio"/> 3, あまり増えていない
	<input type="radio"/> 4, 全くいない
66 職員は、活き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての職員が
	<input type="radio"/> 2, 職員の2/3くらいが
	<input type="radio"/> 3, 職員の1/3くらいが
	<input type="radio"/> 4, ほとんどいない
67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が
	<input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいが
	<input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいが
	<input type="radio"/> 4, ほとんどいない
68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての家族等が
	<input type="radio"/> 2, 家族等の2/3くらいが
	<input type="radio"/> 3, 家族等の1/3くらいが
	<input type="radio"/> 4, ほとんどいない

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	企業理念の中に「地域社会との間に良好な環境を作る」とあります。又、ホーム全体会議、運営推進会議等で、地域社会との交流の重要性をアピールし、連携がスムーズに行くよう、体制作りを実践しています。	企業の社是は「奉仕の心」で、企業理は「地域社会との間に良好な環境を作る」こと、利用者さんに対して決して「上から目線」にならないケアを目指しており、それは達成出来ている。又、ホーム全体会議、運営推進会議等で、地域社会との交流の重要性をアピールし、連携がスムーズに行くよう、体制作りを実践している。朝夕の申し送りを確実に行き、施設長の指示を伝え、情報の共有化に努めている。	今後の継続
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域社会との交流の一環として、近隣の保育園の協力の下、お遊戯の発表会を開催を毎年恒例として実施しています。また、近隣の歯科、往診医師、薬局等と連携し、ホーム運営において、地域社会とのつながりを大切にしています。	地域社会との交流の一環として、近隣の保育園の協力を頂いて、このホームでのお遊戯の発表会を毎年恒例で開催している。また、地元の商店会に加入し、会員の歯科、往診医師、薬局等と連携を図り、ホーム運営に於ける地域社会との繋がりを大切にしている。	今後の継続
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	近隣の医療機関への、往診、通院を行っている中で、認知症の症状、また対応について、医療的な側面だけでなく、介護側からの経験に基づいた視点を話し、認知症の理解を相互に深められるように努力しています。	/	/
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議の中で、レクリエーション等の実施状況の報告、又ご利用者、ご家族からの要望をお聞きし、より充実したサービスの向上となるように活かしています。	運営推進会議についても商店会の協力を頂き、ご家族、商店会中心で運営している。今回は休日でご参加頂けなかったが、宮前区、地域包括支援センターの協力もある。運営推進会議でご利用者、ご家族からの要望をお聞きし、より充実したサービスの向上となるよう、活かすように努めている。	今後の継続
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	ホーム運営上の疑問点等ご指導いただいています。	上記（I-3）運営推進会議についての協力があり、ホーム運営上の疑問点等についても相談、指導を頂く体制が出来ている。	今後の継続

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束の廃止について、全ての職員が理解を深めるため、全体職員会議等で、禁止の対象を上げ、身体拘束をしないケアを実践できるように、力を入れています。	定期的にホーム内研修を実施し、外部の研修にも参加し、身体拘束の廃止について、全ての職員が理解を深め、全体職員会議等で、禁止の対象を挙げ、身体拘束をしないケアを実践できるように、力を入れている。	今後の継続
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	外部研修への参加により、高齢者虐待防止について学ぶように、努力している。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	外部研修への参加により、権利擁護事業について学ぶように、努力している。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約内容の改定はされていないが、今後契約内容等の改定があった場合は、運営推進会議において、説明し納得の上、改定出来るように、取り組んでいきます。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	運営推進会議において、意見、要望をお聞きしています。	介護計画の展開の中や、来訪時のご意見、外部評価及びそのアンケート意見の活用、加えて運営推進会議における意見、要望をお聞きし、運営に反映させている。	今後の継続

自己評価	外部評価	項目	外部評価		
			自己評価 実施状況	実施状況 次のステップに向けて期待したい内容	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	本社会議、リーダー会議、全体職員会議において、職員の意見、提案を聞き、職員全体で検討し、介護サービスやその他の業務に反映されるようにしています。	本社会議、リーダー会議、全体職員会議において、職員の意見、提案を聞き、職員全体で検討し、介護サービスやその他の業務に反映するように努めている。このホームは上場を予定した企業の経営であり、職員の給与、処遇についてはきちんとした体制が整っている。	今後の継続
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	職員は年2回の賞与の際、評価表を記入し、自己評価すると共に、上司の見解により、努力、実績を勘案し、評価しています。また、内部研修の充実化を図り、職員のスキルアップが出来る様に、取り組んでいます。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	内部研修だけでなく、外部研修にも参加出来るように、講習料金を支援し、職員が積極的に参加出来るように取り組んでいます。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	行政主催の研修会等には積極的に参加していただくように取り組んでいます。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居前のアセスメントの際には、必ずホームでの生活の様子、またホームでの生活に対する要望や不安をお聞きし、ケアプランに反映されるようにし、本人の不安を解消できるように努めています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご入居のご相談をいただいた時には、ホームでの介護サービス、料金等を丁寧に説明し、またご家族に要望をお聞きする事で、友好的関係が構築出来るよう努めています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	初回アセスメントの際に見極めています。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	ケアプランの作成にあたっては、利用者の視点に立って作成するように心がけることで、「暮らしを共にする」という感覚を築いています。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	面会時間、外泊等の時間の制約を特に設定せず、ご家族が自由に出入りできる事で、ご家族との絆を大切にしています。また都度ご家族の意見をお聞きする事で、ご家族の思いを把握し、共に支えていくという気持ちを大切にしています。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	馴染みの関係をホーム入居後も継続して築いていけるように、面会の制限を特に設けずに対応しています。	馴染みの関係をホーム入居後も継続して築いていけるように、面会の制限を特に設けずに支援している。ホームが第二の家である実例として、病院入院中には出来なかった（しなかった）ことをここに戻ると出来る（治った）ようになったり、独居だった方が入居して元気になるケースなどが見られる。	今後の継続

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	食事のテーブルの席など、利用者同士の関係を把握してセッティングする等の配慮を行うことで、利用者同士が支えあえるように支援しています。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	在宅復帰された時など、在宅での介護サービスが、スムーズに導入出来るように、協力していきます。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	ホームに暮らしていく中でも、本人の要望等を随時アセスメントし、本人の立場に沿った、ケアマネジメントを推進しています。	ご本人の思いを大切にし、常に聞き出す、感じ取るように努め、ホームでの暮らしの中で、本人の要望等を随時アセスメントし、本人の立場に沿った、ケアマネジメントを推進するようにしている。	今後の継続
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	初回アセスメントの際には、生活歴、馴染みの暮らし等をお聞きしすると共に、サービス利用までの経緯の把握に努めています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	朝礼等による申し送りで、利用者全員の現状を報告し、一人ひとりの身体状況の変化を把握し、それに沿った対応をしています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ケアカンファレンスの際には、必要に応じて関係機関からの意見をお聞きすると共に、本人ご家族も参加していただき、意見を吟味し、反映し、ケアプランの作成に努めています。	ケアカンファレンスの際には、必要に応じて関係機関等からの意見を伺うと共に、ご本人やご家族にも参加して頂きながら意見を伺い、実情に応じて反映し、ケアプランの作成に努めている。	今後の継続
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の日常生活の様子を個別記録に記入すると共に、連絡帳にも記入し、情報を共有する事で、介護計画の見直しに活かしています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	出来る限り、ニーズに対応出来るように、柔軟な姿勢で、取り組んでいます。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域医療機関の協力体制、ボランティアの受け入れ等を通し、安全で豊かな生活が出来るように支援しています。		
30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	基本的には、協力医療機関の往診で対応していますが、入居後もかかりつけ医を継続したいという要望があるのであれば、その医療機関と関係を構築していきます。	入居後もかかりつけ医を継続したいという要望があれば、ご利用頂き、その医療機関と関係を構築するようにしている。但し、殆んどの方が協力医療機関の往診を利用している。内科では山本記念病院系列のやまびこクリニック、精神科の登戸診療所の往診に併せて近くの歯科診療所が通院のお迎え及び歯科衛生士の派遣をしてくれており、医療関係は充実している。	今後の継続

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	登戸診療所から、毎週看護師が訪問し、その都度情報共有し、適切な医療や看護が出来るように支援しています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時にはサマリーを作成し、情報提供し、早期退院に向け、医療機関との調整を随時行っています。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	グループホームでの生活がどの程度までなら、生活可能かをご家族に説明し、医療的ケアが終日必要となり、やむを得ず退去となる場合は、医療的なケアが十分に可能な施設を、地域医療機関、地域包括支援センターと協力しながら対応していきます。	グループホームでの生活の可能範囲をご家族に説明した上で、医療的ケアが終日必要となり、退去せざるを得ない場合は、医療的なケアが十分に可能な施設を、地域医療機関、地域包括支援センターと協力しながら対応及び支援をしている。	今後の継続
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	救急対応の講習会などに参加し、基本的知識を身につけ、的確、敏速に対応出来るようにします。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	夜間を想定した防災訓練を行うことで、昼夜問わず、避難が出来るように、対策しています。また地域住民と合同で避難訓練を実施することで、協力体制を築いていきます。	夜間を想定した防災訓練を行い、昼夜問わず避難が出来るように対策している。また地域住民と合同で避難訓練を実施することで、協力体制を築いていきたいと考え推進している。3月にスプリンクラーの設置を完了した。	今後の継続

自己評価	外部評価	項 目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援						
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	介護者上位的な発想とならないように、日ごろから、各職員間で注意して言葉かけや対応をしています。	定期的にホーム内研修を実施し、外部の研修にも参加し、人格の尊重とプライバシーの確保に努めている。介護者上位的な発想とならないように、日ごろから、各職員間で注意して言葉かけや対応するように努めている。	今後の継続	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	就寝、起床時間を特に定めず、ご自身を生活パターンを尊重して対応しています。（生活パターンの自己決定）	/		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	職員の業務を優先するのではなく、一人ひとりの生活パターンに合わせた支援を行っています。			
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	基本的に、私服でご生活して頂いています。出来る方には、ご本人の意思を確認しながら、衣類をご用意いたします。			
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	おこのみ焼き等、みんなで調理できるようなものをメニューに取り入れ、楽しみながら、食べていただけるように工夫しています。また出来る方には、買い物、食器洗い	食事は食材会社に頼らず、一緒に買い物に行くなど食料を独自に調達し、ご利用者の好みを取り入れたメニューを実施している。おこのみ焼き等、みんなで調理できるようなものもメニューに取り入れ、楽しみながら、食べて頂けるように工夫し、出来る方には食器洗い等のお手伝いもして頂いている。	今後の継続	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	毎食時の食事量及び水分量のチェックにより、状態を把握しています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	出来る方は、ご自分で歯磨きをして頂き、出来ない方は口腔ケアを実施しています。又月2回、近隣の歯科による往診により口腔ケアを実施しています。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	基本的にトイレでの排泄を行い、失禁状態とならないように支援しています。	基本的にトイレでの排泄を行い、失禁状態とならないように配慮し、自立支援を行なっている。	今後の継続
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	ヤクルトを購入し、おやつの時間等に、提供する等、自然排便を促す取り組みを行っています。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	入浴は、ある程度の日程設定を行っていますが、ご本人の希望に合わせて、入浴できるような配慮は心がけています。	入浴は、ある程度の日程設定を行ってるが、本人の希望に合わせて、入浴できるような配慮を心がけている。1Fにはリフト浴の設備が開設時からあり、重度化に沿って有効活用出来るのも良い。	今後の継続

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	就寝時間は、一人ひとりの就寝時間に合わせ、就寝して頂いています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	往診時に、処方される薬に関して、医師より薬の効用等の説明を受けています。又、親会社が薬局ということもあり、薬に関して細かい支持を受けることが可能です。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	生活暦を把握し、個々の嗜好を知る事で、その方を尊重した、日常生活を送ることが出来るように支援しています。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	出来る限り、天気の良い日は外気浴が出来るように、支援しています。外出レクリエーションも取り組んでいきます。	出来る限り、天気の良い日はご利用者が外気浴が出来るように支援に努めている。車で遠出を含めて、近くの公園や散歩を行い、外出レクリエーションにも取り組んで行く予定にしている。	今後の継続
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	基本的には、金庫保管していますが、問題のない方に関しては、ご自分で管理して頂き、自由に近隣のコンビニ等で、買い物をして頂いています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	認知症等により、困難な方は難しいケースもありますが、そうでない方は、要望がある時に支援しています。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節の花をホーム内に飾るなど、季節感がホーム内でも感じられるように工夫しています。また温度調整はエアコン完備の為、常時適温設定がに配慮しています。	リビングはゆったりと広く、中庭からの採光も良く、食事スペース、TVを中心とした応接スペースもゆったりしており、季節の花をホーム内に飾る等、季節感がホーム内でも感じられるように工夫されている。また温度調整はエアコン完備の為、常時適温設定に配慮され快適な空間を整えている。	今後の継続
53		○共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	リビングにはソファを置き、気のあった仲間同士が、くつろげるように配慮しています。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居時の説明の際に、出来る限り、新しいものでなく、馴染みのもので揃えて頂くようお願いし、ご家族の協力の下、違和感なく暮らして頂けるように配慮しています。	入居時の説明の際に、出来る限り馴染みのもので揃えて頂くよう、ご家族にお願ひし、ご利用者が心地良く暮らして頂けるよう配慮している。	今後の継続
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	階段、廊下、トイレには手すりを設置し、出来る限り、安全に自立した生活が営む事が出来るように配慮しています。		

事業所名	はなまるホーム有馬
ユニット名	2階ユニット陽だまり

V アウトカム項目	
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者の
	<input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいの
	<input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいの
	<input type="radio"/> 4, ほとんど掴んでいない
57 利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	<input type="radio"/> 1, 毎日ある
	<input type="radio"/> 2, 数日に1回程度ある
	<input type="radio"/> 3, たまにある
	<input type="radio"/> 4, ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が
	<input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいが
	<input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいが
	<input type="radio"/> 4, ほとんどいない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が
	<input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいが
	<input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいが
	<input type="radio"/> 4, ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が
	<input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいが
	<input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいが
	<input type="radio"/> 4, ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が
	<input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいが
	<input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいが
	<input type="radio"/> 4, ほとんどいない
62 利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が
	<input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいが
	<input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいが
	<input type="radio"/> 4, ほとんどいない

1.48E+09

63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての家族と
	<input type="radio"/> 2, 家族の2/3くらいと
	<input type="radio"/> 3, 家族の1/3くらいと
	<input type="radio"/> 4, ほとんどできていない
64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	<input type="radio"/> 1, ほぼ毎日のように
	<input type="radio"/> 2, 数日に1回程度ある
	<input type="radio"/> 3, たまに
	<input type="radio"/> 4, ほとんどない
65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	<input type="radio"/> 1, 大いに増えている
	<input type="radio"/> 2, 少しずつ増えている
	<input type="radio"/> 3, あまり増えていない
	<input type="radio"/> 4, 全くいない
66 職員は、活き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての職員が
	<input type="radio"/> 2, 職員の2/3くらいが
	<input type="radio"/> 3, 職員の1/3くらいが
	<input type="radio"/> 4, ほとんどいない
67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が
	<input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいが
	<input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいが
	<input type="radio"/> 4, ほとんどいない
68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての家族等が
	<input type="radio"/> 2, 家族等の2/3くらいが
	<input type="radio"/> 3, 家族等の1/3くらいが
	<input type="radio"/> 4, ほとんどいない

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	企業理念の中に「地域社会との間に良好な環境を作る」とあります。又、ホーム全体会議、運営推進会議等で、地域社会との交流の重要性をアピールし、連携がスムーズに行くよう、体制作りを実践しています。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域社会との古流の一環として、近隣の保育園の協力の下、お遊戯の発表会を開催を毎年恒例として実施しています。また、近隣の歯科、往診医師、薬局等と連携し、ホーム運営において、地域社会とのつながりを大切にしています。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	近隣の医療機関への、往診、通院を行っている中で、認知症の症状、また対応について、医療的な側面だけでなく、介護側からの経験に基づいた視点を話し、認知症の理解を相互に深められるように努力しています。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議の中で、レクリエーション等の実施状況の報告、又ご利用者、ご家族からの要望をお聞きし、より充実したサービスの向上となるように活かしています。		
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	ホーム運営上の疑問点等ご指導いただいています。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束の廃止について、全ての職員が理解を深めるため、全体職員会議等で、禁止の対象を上げ、身体拘束をしないケアを実践できるように、力を入れています。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	外部研修への参加により、高齢者虐待防止について学ぶように、努力している。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	外部研修への参加により、権利擁護事業について学ぶように、努力している。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約内容の改定はされていないが、今後契約内容等の改定があった場合は、運営推進会議において、説明し納得の上、改定出来るように、取り組んでいきます。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	運営推進会議において、意見、要望をお聞きしています。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	本社会議、リーダー会議、全体職員会議において、職員の意見、提案を聞き、職員全体で検討し、介護サービスやその他の業務に反映されるようにしています。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	職員は年2回の賞与の際、評価表を記入し、自己評価すると共に、上司の見解により、努力、実績を勘案し、評価しています。また、内部研修の充実化を図り、職員のスキルアップが出来る様に、取り組んでいます。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	内部研修だけでなく、外部研修にも参加出来るように、講習料金を支援し、職員が積極的に参加出来るように取り組んでいます。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	行政主催の研修会等には積極的に参加していただくように取り組んでいます。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居前のアセスメントの際には、必ずホームでの生活の様子、またホームでの生活に対する要望や不安をお聞きし、ケアプランに反映されるようにし、本人の不安を解消できるように努めています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご入居のご相談をいただいた時には、ホームでの介護サービス、料金等を丁寧に説明し、またご家族に要望をお聞きする事で、友好的関係が構築出来るよう努めています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	初回アセスメントの際に見極めています。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	ケアプランの作成にあたっては、利用者の視点に立って作成するように心がけることで、「暮らしを共にする」という感覚を築いています。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	面会時間、外泊等の時間の制約を特に設定せず、ご家族が自由に出入りできる事で、ご家族との絆を大切にしています。また都度ご家族の意見をお聞きする事で、ご家族の思いを把握し、共に支えていくという気持ちを大切にしています。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	馴染みの関係をホーム入居後も継続して築いていけるように、面会の制限を特に設けずに対応しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	食事のテーブルの席など、利用者同士の関係を把握してセッティングする等の配慮を行うことで、利用者同士が支えあえるように支援しています。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	在宅復帰された時など、在宅での介護サービスが、スムーズに導入出来るように、協力していきます。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	ホームに暮らしていく中でも、本人の要望等を随時アセスメントし、本人の立場に沿った、ケアマネジメントを推進しています。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	初回アセスメントの際には、生活歴、馴染みの暮らし等をお聞きしすると共に、サービス利用までの経緯の把握に努めています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	朝礼等による申し送りで、利用者全員の現状を報告し、一人ひとりの身体状況の変化を把握し、それに沿った対応をしています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ケアカンファレンスの際には、必要に応じて関係機関からの意見をお聞きすると共に、本人ご家族も参加していただき、意見を吟味し、反映し、ケアプランの作成に努めています。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の日常生活の様子を個別記録に記入すると共に、連絡帳にも記入し、情報を共有する事で、介護計画の見直しに活かしています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	出来る限り、ニーズに対応出来るように、柔軟な姿勢で、取り組んでいます。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域医療機関の協力体制、ボランティアの受け入れ等を通し、安全で豊かな生活が出来るように支援しています。		
30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	基本的には、協力医療機関の往診で対応していますが、入居後もかかりつけ医を継続したいという要望があるのであれば、その医療機関と関係を構築していきます。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	登戸診療所から、毎週看護師が訪問し、その都度情報共有し、適切な医療や看護が出来るように支援しています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時にはサマリーを作成し、情報提供し、早期退院に向け、医療機関との調整を随時行っています。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	グループホームでの生活がどの程度までなら、生活可能かをご家族に説明し、医療的ケアが終日必要となり、やむを得ずご退去となる場合は、医療的なケアが十分に可能な施設を、地域医療機関、地域包括支援センターと協力しながら対応していきます。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	救急対応の講習会などに参加し、基本的知識を身につけ、的確、敏速に対応出来るようにします。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	夜間を想定した防災訓練を行うことで、昼夜問わず、非難が出来るように、対策しています。また地域住民と合同で避難訓練を実施することで、協力体制を築いていきます。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	介護者上位的な発想とならないように、日ごろから、各職員間で注意して言葉かけや対応をしています。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	就寝、起床時間を特に定めず、ご自身を生活パターンを尊重して対応しています。（生活パターンの自己決定）		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	職員の業務を優先するのではなく、一人ひとりの生活パターンに合わせた支援を行っています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	基本的に、私服でご生活して頂いています。出来る方には、ご本人の意思を確認しながら、衣類をご用意いたします。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	おこのみ焼き等、みんなで調理できるようなものをメニューに取り入れ、楽しみながら、食べていただけるように工夫しています。また出来る方には、買い物、食器洗い		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	毎食時の食事量及び水分量のチェックにより、状態を把握しています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	出来る方は、ご自分で歯磨きをして頂き、出来ない方は口腔ケアを実施しています。又月2回、近隣の歯科による往診により口腔ケアを実施しています。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	基本的にトイレでの排泄を行い、失禁状態とならないように支援しています。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	ヤクルトを購入し、おやつの時間等に、提供する等、自然排便を促す取り組みを行っています。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	入浴は、ある程度の日程設定を行っていますが、ご本人の希望に合わせて、入浴できるような配慮は心がけています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	就寝時間は、一人ひとりの就寝時間に合わせ、就寝して頂いています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	往診時に、処方される薬に関して、医師より薬の効用等の説明を受けています。又、親会社が薬局ということもあり、薬に関して細かい支持を受けることが可能です。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	生活暦を把握し、個々の嗜好を知る事で、その方を尊重した、日常生活を送ることが出来るように支援しています。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	出来る限り、天気のよい日は外気浴が出来るように、支援しています。外出レクリエーションも取り組んでいきます。		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	基本的には、金庫保管していますが、問題のない方に関しては、ご自分で管理して頂き、自由に近隣のコンビニ等で、買い物をして頂いています。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	認知症等により、困難な方は難しいケースもありますが、そうでない方は、要望がある時に支援しています。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節の花をホーム内に飾るなど、季節感がホーム内でも感じられるように工夫しています。また温度調整はエアコン完備の為、常時適温設定がに配慮しています。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	リビングにはソファを置き、気のあった仲間同士が、くつろげるように配慮しています。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居時の説明の際に、出来る限り、新しいものでなく、馴染みのもので揃えて頂くようお願いし、ご家族の協力の下、違和感なく暮らして頂けるように配慮しています。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	階段、廊下、トイレには手すりを設置し、出来る限り、安全に自立した生活が営む事が出来るように配慮しています。		

目 標 達 成 計 画

事業所

はなまるホーム有馬

作成日

平成22年6月22日

〔目標達成計画〕

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
		外部研修の参加機会が少ない	職員が外部研修に積極的に参加出来るように体制を整える。	外部研修費の支援及びシフト調整	2ヶ月位
		運営推進会議開催を概ね2ヶ月一回行われていない	概ね2ヶ月に1回の運営推進会議を開催する	年間スケジュールで運営推進会議を組みこむ	年6回

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。